

# 寸胴

Zun

Dō

NO. 70 2024 Spring

ISSN 0915 8960

図書館ホームページ URL: <https://www.lib.gifu-u.ac.jp>

## 目次

研究・交流の場としての図書館／文書館	寄贈図書一覧（2023年7月～12月）……………6
一歴史研究者の日英における経験から……………1	お知らせ……………8
戦争と人権……………4	

### 研究・交流の場としての図書館／文書館 一歴史研究者の日英における経験から



辻本 諭

私自身を含め、人文系の研究者は、主として文献資料（史料、学術図書・雑誌など）をもとにそれぞれの研究を行っている。そのため文献資料が集められている図書館／文書館は、私たちにとって第一の仕事場といえる。この小文では、私がこれまで国内外（日本およびイギリス）のさまざまな図書館／文書館を利用してきた経験をもとに、これらの施設が果たしている役割について、また私自身がそのサービスを利用して感じたこと、考えたことについて記述してみたい。

もう 25 年ほど前、東京大学文学部で西洋史学を学んでいた私が研究のために図書館を本格的に利用し始めたのは、学部 4 年生になり、近世イギリス史（名誉革命期のイギリスの軍隊）に関する卒業論文に取り組む中でであった。研究に必要な専門書・学術誌（日本語・英語）や刊行史料は、文学部、経済学部、社会科学研究所などの各図書館に、一般的な図書・雑誌および一部の稀観書は総合図書館に収蔵されていて、それらの調査・分析のため、学部 4 年次、さらに大学院に進

学してからは大学にいる時間の大半をこれらの施設で過ごした。幸いにも、東京大学は日本の大学の中では図書館の蔵書が際立って充実しており、たとえばイギリス史に関するものとしては、19世紀から20世紀前半にかけて編纂・出版された『庶民院議事録 (*Journals of the House of Commons*)』、『国務文書要覧 (*Calendars of State Papers*)』、歴史的文書編纂委員会 (Historical Manuscripts Commission) による一連の『報告』および『詳細目録』などの主要な刊行史料が一通り揃えられていた。私にとって、これらを早くから利用できたことは、後に留学して博士論文に取り組んでいく際に大きなアドバンテージとなった。また、私が卒業論文、修士論文において主たる分析の対象としたのは、17世紀末から18世紀初頭のイギリスで出版された、軍事をテーマとする数十の時事パンフレット群であったが、それは経済学部図書館に所蔵されている「ゴールドスミス経済学文献文庫 (*Goldsmith's Library of Economic Literature*)」を利用することで可能となった。現在はオンライン・データベース化されているこの史料集成は、当時はマイクロフィルムの形で保存されていた。マイクロフィルム・リーダーを操作して歴史的なパンフレットを読み込み、必要箇所を(位置取りとピントの調整に苦労しつつ)印刷する作業はとても刺激的で、作業中の緊張と興奮を今でもはっきりと覚えている。

東京大学に所蔵のない資料については、他大学の図書館を利用させて頂いたが、そのときに強く感じたのは、大学図書館間の相互連携の充実とその恩恵である。全国大学図書館蔵書検索サイトでの事前調査と所属機関の紹介状さえあれば、ほとんど不自由なく必要な資料調査を行うことができた。訪問先で希少な資料を閲覧できたとき、また何とはなしに館内を見学しているうちに思いがけず重要な資料に出くわしたときの喜びは、今もなお忘れられないものがある。総じて、文献資

料のデータ化／オンライン化がまだ進んでいなかった当時には、資料はもっぱら自分で図書館まで足を運び、書棚を見て回り、実物を手に取り、必要箇所をコピーして(あるいはノートにメモを取って)集めるものであった。当然のように資料の調査・収集には多大な時間と労力を必要としたが、その過程にはどこか宝探しに似たワクワク感があったように思う。図書館は宝の山であり、そこで自ら宝＝資料を発見・発掘していくような感覚である(これは今でも一次史料の調査を行う際にしばしば感じることである)。



ケンブリッジ大学図書館 (著者撮影)

2005年から2009年まで、私は博士号取得のためイギリスのケンブリッジ大学(歴史学部)に留学し、「17世紀後半のイングランドにおける軍隊と地域社会」をテーマとする研究に取り組んだが、この間も私の主たる仕事場はやはり大学図書館(University Library)であった。ケンブリッジ大学図書館は、イギリスに6つある法定納本図書館(イギリスで刊行されるすべての出版物の納本が義務づけられている)のひとつで、その蔵書は800万冊を超え、私にとって読むべき資料は山のようにあった。ちなみに、同図書館はイギリスでも有数の日本語文献コレクションを有しており、それは中国や朝鮮の文献コレクションとともに、館内の青井パヴィリオン(Aoi Pavilion、1998年開設)に収蔵されている。ここには日本の主だった学術雑誌も取り揃えられていて、そのおかげで



## 「戦争と人権」

上野 友也

現代の世界において戦争と人権の問題は、依然として人間にとって重大な課題である。2022年からのイスラエルによるガザ地区への侵攻では、多くの市民が戦争の犠牲になり、その悲惨な光景がグローバルなメディアを通じて私たちに迫りくる。なぜ、人間は残虐な方法を用いて他者を殺害するのであろうか。地球上には比較的恵まれた人間がいる一方で、なぜ武器で無残にも殺される人がいるのであろうか。そもそも人間にとって戦争とは何なのだろうか。そのような疑問をもつ人も多いであろう。ここからは、いくつかの書物を紹介するなかで、戦争と人権の課題について考えていこう。

戦場において民間人（正確には文民という）が大量に殺害されるようになったのは、20世紀からである。それまでの戦争の主役は兵士であり、戦闘は兵士のあいだで行われた。そのため、戦争の犠牲者は兵士に集中した。ところが、20世紀の世界大戦においては、兵士の戦闘に民間人が巻き込まれて殺害されたり、貧困や飢餓に陥ったりすることが増えてきた。

国際政治学者のメアリー・カルドーは、著書『新戦争論—グローバル時代の組織的暴力』\*1のなかで、民間人が国家間戦争に巻き込まれるだけでなく、昨今の戦争では民間人が故意に傷つけられていると指摘した。それはなぜなのか。カルドーは、三つの点を指摘する。第一は、戦争の目標の変化である。国家間戦争の目的の多くは領土の拡張にあったが、現在の戦争の目的は異質なアイデンティティをもつ人びとの排除にある。敵対する宗教、民族、言語を保持する人びとを排除するために暴力を用いる。第二は、戦争の形態の変化である。以前の国家間戦争の主役は国家であるが、現在では武装集団やテロリストが主役となり、その暴力を用いて住民を支配する。第三は、国家間戦争のように公式の予算を用いた戦争とは異なり、現代の戦争は、略奪、誘拐、闇市場、外部からの援助といった方法を用いた戦争経済と結びついている。カルドーは、新しい戦争のすべてがそれらの性質をもっているのではなく、そのような傾向が頻繁に見られるようになったと主張した。たとえば、ユーゴスラヴィアでは民族運動が高まり、とくにボスニア内戦においては、民間人の多くが暴力の被害を受けた。それには、殺傷、強制収容所への収容、拷問、組織的な性暴力などの暴力が含まれる。ルワンダでも、トゥチ人の多くがフトゥ人の武装集団と住民によって殺害された。フトゥ人の多くは、フトゥの政権がトゥチ人に打倒されたのちトゥチ人からの報復を恐れて、隣国に難民として脱出した。

2001年9月11日にアメリカ同時多発テロリズム事件が発生し、多くの民間人がアルカイダのテロ攻撃によって犠牲になった。それを受けて、アメリカはアルカイダを匿うアフガニスタンのタリバーン政権を打倒するために、アフガニスタン戦争を引き起こした。中東研究の第一人者である酒井啓子は、著書『9.11後の現代史』\*2のなかで、アフガニスタン戦争のほかイラク戦争やアラブの春といった中東における一連の政治変動を的確に分析する。それは、これらの政治変動が国家間戦争によって生じるというよりは、比較的小規模な武力衝突やテロリストの攻撃といった新たな形態によってもたらされている。また、酒井はこれらの紛争の原因に宗派対立があると指摘されることに対して、政治指導者や武装集団間の対立がその根底にあり、宗派が異なるだけで紛争が起きるわけではないと指摘する。

2011年、チュニジアで長期独裁政権が市民の力によって打倒された。それを起点として中東において



※紹介文は著者または編者本人による

●府川純一郎（地域科学部）

・希望の未来への招待状：持続可能で公正な経済へ / マーヤ・ゲーペル著；三崎和志 [ほか] 訳，大月書店，2021.6【図本館3階 519||Gop】

持続可能性を実現するには、EV や再生可能エネルギーではなく、経済成長を追い続ける人間の活動を根本的に見直すしかない。豊富な実例とデータ、そして平易な文章でおくる、ドイツでのベストセラー。

・アドルノ美学解説：崇高概念から現代音楽・アートまで / 藤野寛，西村誠編，花伝社，2019.12【図本館3階 701.1||Ado】

二十世紀最大の美学者の一人、アドルノ。その八面六臂のテキストに長年取り組んだ研究グループが、崇高、自然美、神学・形而上学、倫理・感性学、モンタージュ、表現と構成、SEA、不定形音楽、トータル・セリエリズム以降の音楽、といった、多角的な読解を通じてその全体像を析出します。

●林日佳理（教育学部）

・ユダヤ系アメリカ文学のすべて：十九世紀から二十一世紀 / 日本ソール・ベロー協会編，小鳥遊書房，2023.9【図本館3階 930.29||Nih】

アメリカのユダヤ系の作家・作品についてまとめた概説書です。たくさんの論者がさまざまな観点からいろいろな作品を論じているので、ユダヤ系アメリカ文学に興味のある方だけでなく、「文学研究ってどんな視点があるんだろう？」という疑問を持っている方にもおすすめです。

●牧秀樹（地域科学部）

・小学生版最小英語テスト（eMET）ドリル / 牧秀樹，西田雛著，開拓社，2023.9【図本館3階 830.79||Mak】

「ゲーム感覚で英語の力をつけたい」そんな小学生に、このドリルをお勧めします。小学5・6年生で学ぶ文法項目をすべて網羅しています。すでに英語の勉強を始めているお子さんには、力試しとして、また、中学生や英語からしばらく遠ざかっている方には、小学校英語のおさらいとしても使えます。テストを24題収録。音声はHPよりダウンロードできます。

・みんなの言語学入門：日本語と英語の仕組みから未知の言語へ / 牧秀樹著，開拓社，2023.11【図本館3階 801||Mak】

著者の牧教授の専門分野は、言語学。その初めての教科書。

著者の思いを以下に。

「世界のことばって、全部互いに翻訳できるのかな？だったら、その背後に、何かしら仕組みがあるんじゃないのかな。ねえ、みんなで、考えてみない？きっとみんなのためになる。こんなことから、始まりました。『みんなの言語学入門』本書で日本語と英語の構造を理解すれば、未知の言語（韓国語、スウェーデン語、モンゴル語、フランス語、ビジ語、中国語）に出会っても、慌てず解析できます。言語学の「人生最初の一歩」の教科書に。」

●梶川千賀子（応用生物科学部）

・リンゴ経済の計量分析 / 梶川千賀子著, 農林統計協会, 1999.4【図本館 1 階和書 625.21 | Kaz】

日本のリンゴ栽培は、1871 年の苗木輸入から始まり、1939 年育成品種ふじを中心に、青森県等産地を形成しています。リンゴ関係データに基づいて、品種特性や産地間競争などを統計学的手法で分析しています。

・低成長期／戦後日本の食料・農業・農村編集委員会編, 農林統計協会, 2018.7【図本館 3 階 612.1 | Sen】

『戦後日本の食料・農業・農村』全 17 巻は、第 2 次世界大戦後の日本農業 50 年間を評価・記録したものです。第 4 巻の本書では、1970・1980 年代に、変貌した農業生産構造や食生活の状況を考察しています。

・農業経済学事典／日本農業経済学会編, 丸善出版, 2019.11, 【図本館 3 階 611.036 | Nih】

農業経済学は、農学を礎に、法学・数学等との学際的研究を展開しています。日本農業経済学会は、2024 年に学会創立 100 周年記念大会を迎えます。農業経済学についての百科事典として、編纂されたものです。

/// お知らせ ///

岐阜大学 リサイクル募金」によるご支援をお願いいたします

リサイクル募金とは、切手・ハガキ・本・DVD 等をご提供いただき、その査定換金額を岐阜大学に寄附する取り組みです。寄附金は図書館資料等の整備に役立てられます。申込受付から査定・報告、および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」（運営：嵯峨野株式会社）が担当します。リサイクル募金 1 回のご参加につき、きしゃぼんからも 100 円が寄附されます。



お問い合わせ・お申込み

電話で申込む 0120-29-7000 寄附先ID 162 とお伝えください。  
 (受付) 9時~18時・365日

WEBで申込む 岐阜大学 リサイクル募金 kishapon.com/gifu-u/

## お知らせ

### 電子ジャーナルの転換契約が始まりました

電子ジャーナルの転換契約（購読モデルから購読及び出版モデルへの転換）の試行に伴い、令和6年1月から Wiley 社及び SpringerNature 社、また令和6年4月から Elsevier 社において、オープンアクセス論文投稿の支援を行います。

詳細は、図書館ホームページでご確認ください。

<https://www.lib.gifu-u.ac.jp/academic/apc.html>

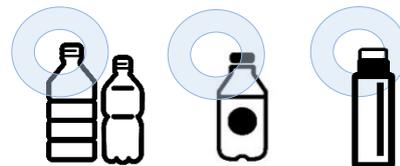
### 図書館の飲食ルール：持ち込み可能な飲み物について

館内は原則飲食禁止となっておりますが、水分補給等の健康上の理由から、フタ付きの容器に入った飲み物に限っては持ち込み可能としています。皆が気持ちよく図書館を利用できるよう、ご協力をお願いします。

#### 【持ち込み可】

ねじ式のフタ付き容器に入った飲み物は OK です。

例：ペットボトル、スクリューキャップの缶、マイボトル



#### 【持ち込み不可】

フタないものは不可です。また、フタがあっても、倒れれば簡単にこぼれる物は不可です。

例：カップ、紙パック、プルトップ式の缶、チルドカップ、トラベラーリッド付きカップ（コンビニでテイクアウトするホットコーヒーなど）



※図書館サービスの内容は感染症の流行等により変更となる可能性があります。最新の情報を図書館ホームページにてご確認ください。

#### 【タイトル「寸胴」について】

図書館エントランスホールにある陶壁画「寸胴譜」（作：九谷興子 1911-1998）は、陶器の原型「寸胴」を学生や若い研究者になぞらえ、社会への飛躍をイメージした作品で、図書館報のタイトルはそこから採っています。

